



## $a^b$ と $b^a$ の大小関係

定理.  $e$  をネイピア数とする. 実数  $a, b$  に対して, 次が成り立つ.

- $e < a < b$  のとき,  $a^b > b^a$ ,
- $0 < a < b < e$  のとき,  $a^b < b^a$ .

証明. 関数  $f(x) = \frac{\log x}{x}$  を考える. 導関数は,

$$f'(x) = (\log x)' \left(\frac{1}{x}\right) + (\log x) \left(\frac{1}{x}\right)' = \frac{1 - \log x}{x^2}$$

であり,  $\log x$  の単調増加性から,  $e < x$  なら  $\log x > \log e = 1$  が成り立つので,

$$e < x \text{ のとき, } f'(x) < 0 \text{ が成り立つ.}$$

よって,  $f(x)$  は,  $e < x$  で単調減少であり,  $e < a < b$  のとき,

$$f(a) > f(b) \iff \frac{\log a}{a} > \frac{\log b}{b}$$

が成り立つ.  $a > 0, b > 0$  なので, これは次と同値である.

$$b \log a > a \log b \iff \log a^b > \log b^a.$$

再び,  $\log x$  の単調増加性から,  $a^b > b^a$  が従う.

$0 < x < e$  なら, 上と同様に考えて,  $f'(x) > 0$  が成り立つので,  $f(x)$  は,  $0 < x < e$  で単調増加である. よって,  $0 < a < b < e$  のとき,

$$f(a) < f(b) \iff \frac{\log a}{a} < \frac{\log b}{b}$$

が成り立つ.  $a > 0, b > 0$  なので, これは,

$$b \log a < a \log b \iff \log a^b < \log b^a.$$

と同値であり,  $\log x$  の単調増加性から,  $a^b < b^a$  が従う. □

